

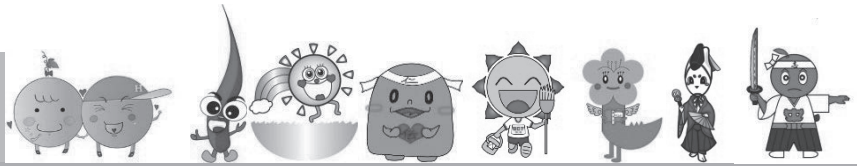


# 柳井地域

- 柳井市
- 周防大島町
- 上関町
- 田布施町
- 平生町

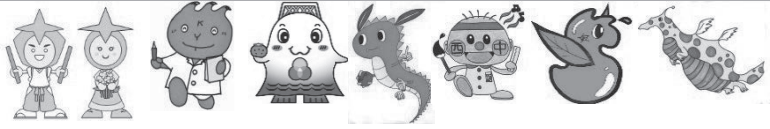


柳井市は



# スクール・コミュニティ

をめざしています！



柳井市教育委員会学校教育課

## ① 基本方針

### 学校を中心に、人づくり、まちづくりを進める地域

スクール・コミュニティとは、学校を中心に様々な年齢層の市民が交流を深め、新たな絆を生み出すことによって、学校、家庭、地域が一体となった人づくり、まちづくりをすすめる地域の在り方を示したものです。

## ② 推進体制

コミュニティ・スクール

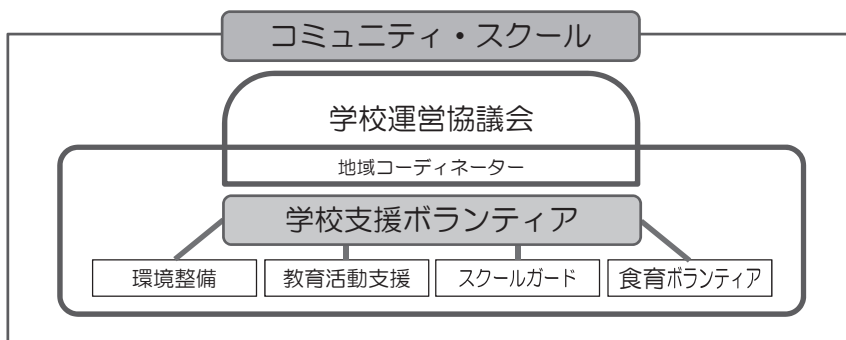
学校支援ボランティア

地域協育ネット

○コミュニティ・スクール・・・学校運営協議会を設置し、地域に学校を開いて課題や目標を地域と共有して地域と一体となって学校運営を展開する学校

○学校支援ボランティア・・・学校の教育活動を充実させるためのボランティア活動

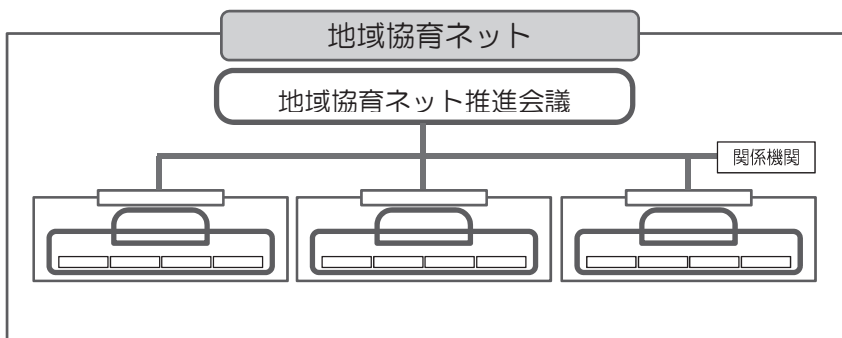
○地域協育ネット・・・・・・地域ぐるみで15歳までの育ちを支えるネットワーク



学校運営協議会の様子



学校支援ボランティアの様子



地域協育ネット推進会議の様子

### ③ 本市の主な取組

## キーワード 「参画」そして「協働」へ

### 1 コミュニティ・スクールとしての取組内容の重点化と評価の充実

- ・保護者や地域住民の学校経営に対する参画意識の高揚、協働機会の実現等による、コミュニティ・スクールの学校運営の機能の充実
- ・学校経営に対する当事者意識を基盤とした学校関係者評価の実施
- ・学校と地域との交流の促進

#### (1) コミュニティ・スクール運営推進書・経営案の策定

- ・従来の学校運営推進書を発展させ、コミュニティ・スクール運営推進書を作成
- ・コミュニティ・スクールとしての特色、学校、家庭、地域の役割等を図式化したコミュニティ・スクール経営案を作成→学校経営要覧に掲載

#### (2) 学校運営協議会の充実（目標の共有と解決への協働・熟議）

#### (3) 保護者の参画意識を高めるためのPTA 総会、保護者会の持ち方の工夫

#### (4) 開かれた学校づくりの基盤となる情報発信

#### (5) コミュニティ・ルームの設置と活用

#### (6) 学校キャラクターの活用

### 2 学校支援ボランティアの充実

- ・学校を中心としたボランティアの組織化とボランティアの年齢層の拡大（老・壮・青の連携）



学校キャラクターのクッキー  
（柳井小）



学校キャラクターのクリア  
ファイル（柳井中）

### 3 地域協育ネットの推進

- ・地域協育ネットのテーマの設定と、モデル校区の小・中学校と地域が一体となって取り組むことができる具体的活動の実施
- ・地域協育ネットの特性や歴史を生かした、小中連携による地域カリキュラムの作成

#### (1) それぞれの地域協育ネットのこれまでの取組を踏まえて、さらに具体的な前進を

#### (2) 小中連携カリキュラムをもとにした小・中学校教員の異校種のカリキュラムに対する理解の促進

→小中合同研修会で小中連携カリキュラムや小中の教科書を共通の資料とした研修を実施

#### (3) 地域の特色や歴史を生かした地域カリキュラムの作成

→教育振興基本計画の中の「地域肯定感」の育成→地域協育ネット推進会議やそれぞれの学校の学校運営協議会の議題として地域の方からもアイデアを募る→学校の専門性を生かして教材化

#### (4) 本年度の成果

##### 柳中コミュット・・・地域貢献をめざした地域生徒会の取組

地域ごとに生徒会を構成し、地域住民との熟議をベースに地域貢献を実行していく

★ 今年度達成 「地域生徒会＋地域住民→地域貢献」の構成

★ 最終目標 「地域生徒会＋地域児童会＋地域住民→地域貢献」の構成へ

○周防大島町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

① 基本方針

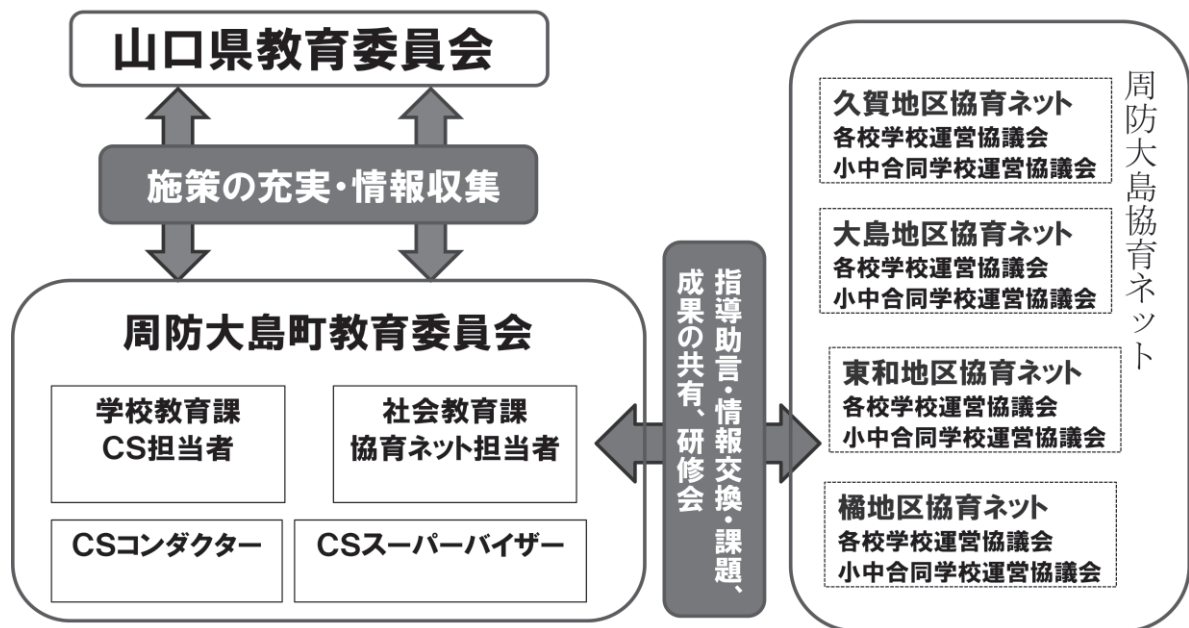
【基本目標】 自立・協働・創造～ふるさとに誇りがもてる人づくり・地域づくり～

未来の周防大島町を担う子どもたちが心豊かでたくましく育つためには、家庭や地域と学校の連携を強め、全ての町民が子どもたちの成長を支える仕組みづくりを推進し、つながりのある地域社会を創造することで、子どもたちの「生きる力」を育むことが必要である。

そこで、「生きる力」を自立（自ら生きる力）・協働（ともに生きる力）・創造（よりよく生きる力）と整理し、基本目標を「自立・協働・創造～ふるさとに誇りがもてる人づくり・地域づくり～」と定め、複雑高度な文明社会に立ち向かい、心豊かでたくましく生きる人材を育成することを本町教育の基本方針とする。

そして、基本目標達成のため、コミュニティ・スクールや協育ネットの仕組みを活用して、町民総がかりで取り組む。

② 推進体制



③ 周防大島町教育委員会の具体的な取組等

- ・町単独事業「コミュニティ・スクール推進事業」のコミュニティスクールスーパーバイザー（以下、CSV）及びCSコンダクターによるコミュニティ・スクールの推進。
- ・やまぐち地域連携教育（柳井地域）兼 全国・融合研フォーラム 2016in 周防大島の開催。
- ・周防大島協育ネット（周防大島町小中合同学校運営協議会）の開催。
- ・パンフレット「周防大島町教育委員会 学校協育の概要」の作成。
- ・コミュニティ・スクール啓発のため、町広報誌に「コミスクかわら版」を連載。
- ・町内5中学校の内4中学校をモデル中学校区に指定し、やまぐち型地域連携教育推進。
- ・地域の人が集うコミュニティルームの設置。会議室や音楽室を地域の生涯学習に開放。
- ・CSコンダクター、CSV、派社主、指導主事による学校運営協議会等への支援。

## ○上関町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

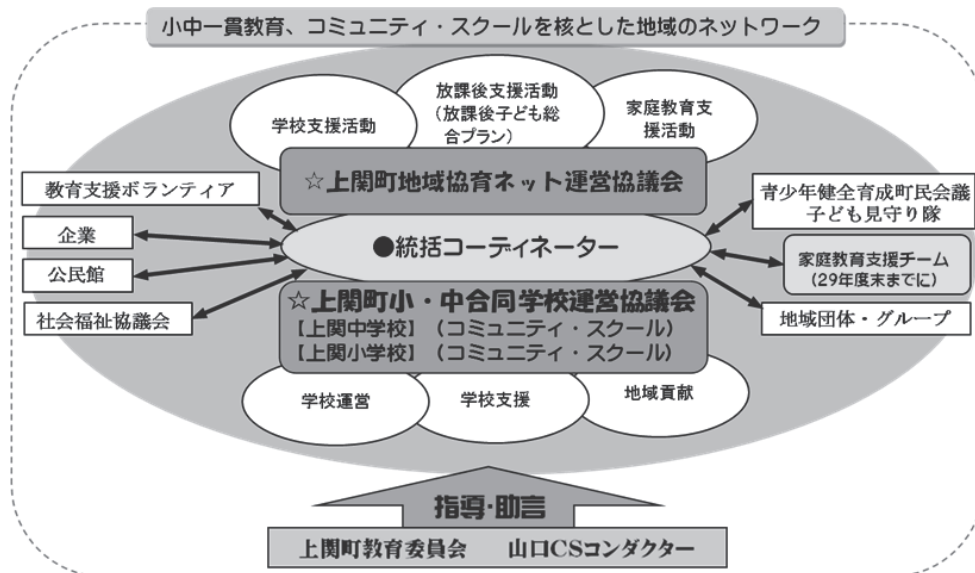
### ① 基本方針

本町では、平成 27 年度に上関小学校と上関中学校をコミュニティ・スクールとして指定した。従来から本町で取り組んでいる小中一貫教育の活動を生かすことで、小中一緒に地域の方と活動したり、小中合同の学校運営協議会を開いたりするなど、育てたい子ども像を町全体で共有しながら、社会総がかりの上関町教育をめざして取り組んでいる。

一方、地域協育ネットにおいては、心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てるため、学校・家庭・地域が相互に連携し、学校や家庭での教育活動への支援及び放課後等における子どもの安全で安心できる居場所づくり（放課後子ども教室）を推進している。

このように、本町ではコミュニティ・スクールを核とした地域連携を進めることで、学校教育的側面、社会教育的側面の両方から子どもの学びや育ちを支援していく。

### ② 推進体制



### ③ 市町教育委員会の具体的な取組等

#### ○上関町小・中合同学校運営協議会や各学校運営協議会の指導・支援

- ・コミュニティ・スクールの機能（学校支援・学校運営・地域貢献）充実に向けた取組への支援
- ・上関中校区全体のテーマ（課題）の整理と学校課題解決に向けた方策の検討・実施への支援
- ・テーマや学校課題、学校評価等をもとにした熟議と具体的な取組の実施への支援

#### ○上関町地域協育ネットへの指導・支援

- ・上関町地域協育ネット運営協議会への支援
- ・放課後子ども教室への運営支援
- ・統括コーディネーターや学校関係者をはじめ、各団体との連携・支援

#### ○やまぐち型地域連携教育の周知および研修

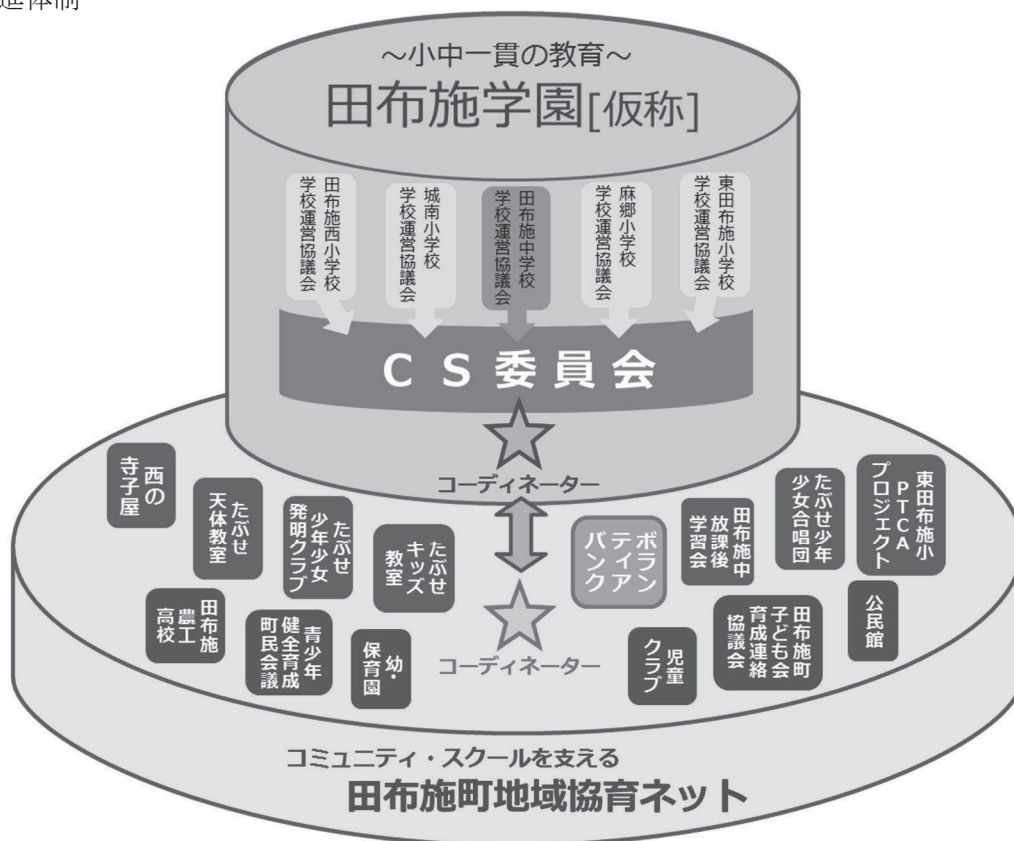


【田布施町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想】

① 基本方針

- コミュニティ・スクールと地域協育ネットが連携し、学校を支援する取組を推進する。
- コミュニティ・スクールの機能を基盤にした小中一貫の教育を推進する。

② 推進体制

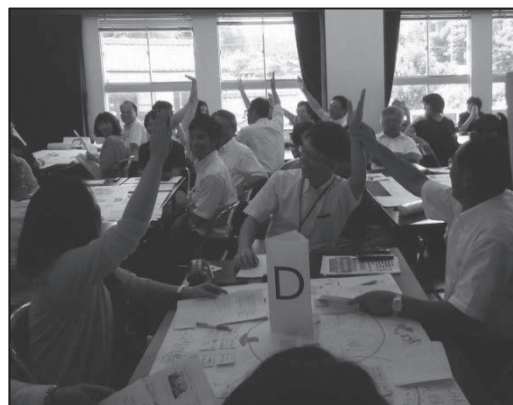


③具体的な取組



【学習支援ボランティア】

学習支援ボランティアが学校の必要に応じて授業の学習支援に入り、学校運営の円滑化・充実を図っている。



【熟議】

熟議を開催し、学校・家庭・地域が課題と目的を共有。よりよい学校運営を図るための方向性と、互いの役割等を確認。



### 【CS委員会】

町内全小中学校の学校運営協議会の代表により構成されたCS委員会を開催。田布施町の未来を担う子どもの育成について協議し、具体的な活動をおこす起点的役割を果たしている。



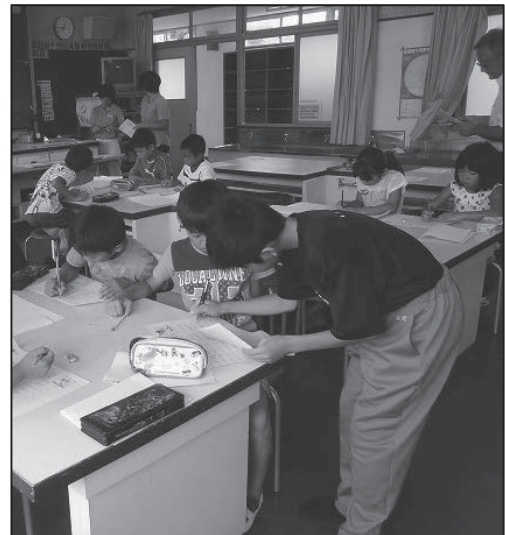
### 【放課後支援】

放課後子ども教室等、放課後の子どもたちの居場所づくりを積極的に推進。



### 【研修会】

地域協育ネットでは、「子どもへのかかわり方」をテーマにした講演会等を開催。「地域の子どもは地域で育てる」機運を高めている。



### 【小中連携】

サマースクールや放課後子ども教室に中学生が参加。自己有用感の高揚や中一ギャップの解消に一役買っている。



### 【地域貢献】

地域行事に中学生が参加。自己有用感や地域肯定感の高揚が見られる。

### 【CSルーム】

各学校にコミスク・ルームを設置し、学校と地域の交流拠点を整備。

### 【小中共通の評価項目の設定】

学校評価における各校のズレを解消し、地域の子どもを同一歩調で育てる取組を推進している。

### 【全小学校共通の学習規律・生活規律の設定】

小学校間における指導内容の整合を図り、中学校へのスムーズな移行を図る。

## ○平生町における「やまぐち型地域連携教育」推進構想

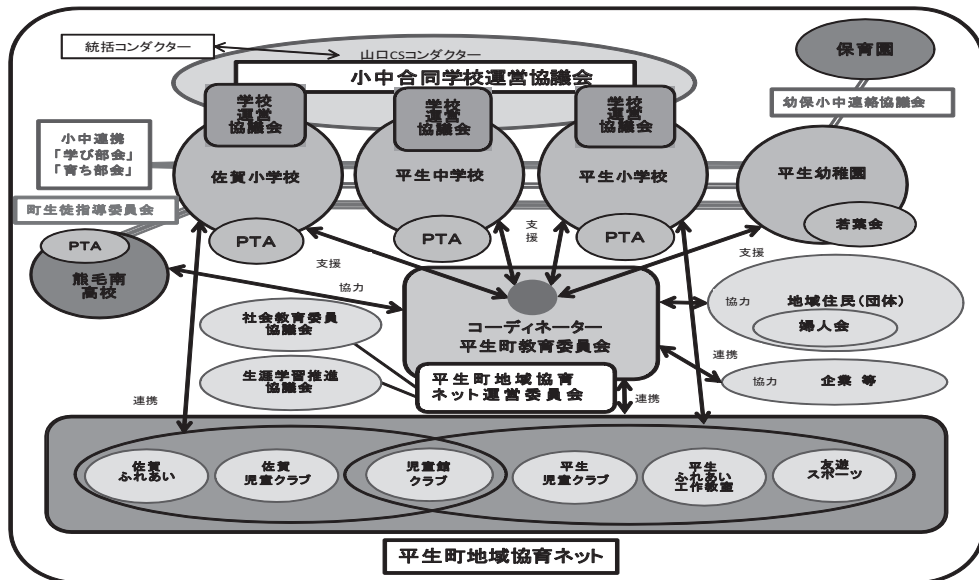
家庭・地域とのつながりを深め、

「信頼される学校づくり」、「開かれた学校づくり」を推進するために

### ① 基本方針

- 学校運営協議会の活性化による学校・家庭・地域一体となった教育実現への取組
- 小中合同学校運営協議会による情報の共有化及び小中・小小連携の強化
- CSコンダクターの指導・支援による平生町における「やまぐち型地域連携教育」の取組の充実と水準の向上
- 平生町地域協育ネットの活用による地域全体での学校教育への支援体制づくりの推進
- 統括コーディネーターを中心とした学校ボランティアの支援体制の充実
- 各校CSだよりや情報誌「クロッカス通信」などの情報発信による平生町における「コミュニティ・スクール」・「地域協育ネット」に対する理解・啓発の促進

### ② 推進体制



### ③ 平生町教育委員会の具体的な取組等

- 小中合同学校運営協議会において“めざす子どもの姿”の共有を図り、「あいさつ」をキーワードに掲げた。各校やコミュニティ協議会等が連携して「あいさつ運動」を展開しており、毎回数多くの参加者と子どもたちのとの関わりが生まれている。
- CSコンダクターによる学校運営協議会への参画や学校訪問による管理職への指導・助言が実施されており、学校・行政・地域との結びつきがより強くなってきた。
- 「平生町地域協育ネット運営委員会」により、目的やねらいを明確した上で、学習支援活動、環境整備活動、見守り活動等、連携して子どもを見守り育てる様々な取組が推進されている。
- 統括コーディネーターによる学校と地域との連絡調整が良好に機能し、学校支援ボランティアの学校支援への参画が密になってきた。
- 「クロッカス通信」などの情報発信により、平生町住民へ「コミュニティ・スクール」や「地域協育ネット」に対する理解・啓発に努めた。



## 学校運営に係る取組

柳井市立日積小学校



学校運営協議会にランチミーティングを取り入れ、教職員と地域住民も交え、気軽に意見交換会を行い、めざす子ども像の共有化を図ることができた。

柳井市立柳東小学校



地域において、挨拶に課題があるとの気付きがあったことから、毎朝挨拶運動を実施しており、改善が図られている。

柳井市立新庄小学校



8月の学校運営協議会では、協議会委員と全教職員が、学校評価の結果をもとに本校の取組の成果と課題について協議を行い、今後の方向性を模索した。

柳井市立小田小学校



夏季休業中に、学校運営協議会委員と全教職員が一堂に会し、上半期の学校運営について意見交換を行った。

周防大島町立久賀小学校



地区懇談会を開催し、学校の基本方針を共有し、「どのような学校をつくりたいか」をテーマに熟議を行った。

周防大島町立情島小学校、情島中学校



今年度末の休校に向けての記念行事を島の多くの方と一緒に企画した。学校祭では、休校記念に、学校前の岸壁にみんなで絵を描いた。児童生徒が大人になって再び見に来ることを期待している。

### 協働する喜びを広げるコミュニティ・スクールの取組を

柳井市教育委員会 山口CSコンダクター 中原直巳

コミュニティ・スクール（CS）というのは、みんなで熟議する学校ともいわれます。

学校から出された課題に対して、地域の人と保護者・学校職員が楽しそうに知恵を交換しあい、協議を進める様子、また、子どもとお年寄りが顔をつきあわせ、地域の未来を語りあい、行事の企画をする熟議の様子などに、CSの充実に向けた、学校や地域の変容を多く感じられるようになりました。そして、子どもたちのためにと活動していたことなのに、大人の自分が一番成長しているような気がしますという声も聞くことができました。

魅力ある学校活動の実現を目的に、多くの人が学校に集って協力することが慣習化する。そうした老年・壮年・青年がつながりあい協働することに、みんなが良さを体感し、その良さの感得を積み上げることが、確かなCSを発展させることだと確信します。

本県の全小・中学校がCSの指定校となった今だからこそ、より充実した学校運営・元気な地域づくりにつながる、CS本来の目的からぶれない取組の推進ができるように、尽力したいと思います。



学校運営に係る取組

周防大島町立島中小学校



学校運営協議会では、熟議を通して、児童の学力向上やゲーム依存など、様々な学校課題について協議している。特に今年度は、PTA役員にも熟議に参加していただき、学校、家庭、地域の3者で協議を深めた。

上関町立上関小学校、上関中学校



小中合同で学校運営協議会を開催し、小中9年間でどのような子どもを育てたいか、活発な意見交換を行った。

平生町立佐賀小学校



へき地・複式・小規模校教育振興会の授業研究会に、地域の方に来校していただき、各学年の授業参観後、意見をいただいた。

平生町立平生小学校



学校運営協議会では、学校経営方針についての協議や授業参観を実施した。また、教職員と保護者で、児童の様子についての熟議や、成果と課題についての協議などを行った。

柳井市立柳井西中学校



学校運営協議会で、いじめ対策について協議した。また学校評価の結果を受けて、重点目標達成のための今後の実践内容について意見をいただいた。

柳井市立大畠中学校



小中合同の学校運営協議会で、小・中学校共通の課題についてグループで協議し、9年間を見据えた取組について話し合った。

周防大島町立久賀小学校、久賀中学校



年間2回の小中合同の学校運営協議会（全教職員も出席）を実施し、学校運営の充実や中学校統合に関する熟議等を行った。

田布施町立田布施中学校



PTA総会後に「携帯・スマホのメリット・デメリット」についての熟議を行った。様々な視点から多くの意見が出され、それを共有するよい機会となった。

平生町立平生中学校



学校運営協議会委員を交え「ユニット型研修会」を実施した。研修を通して、教員からは、委員からの多角的な視点が授業づくりに生きるとの意見が、委員からは、授業づくりに時間と情熱をかけている教員の姿を他の方にも発信したいとの思いが語られた。



学校支援に係る取組

柳井市立柳井小学校



柳井まつりで「ちびっこ屋台」を出店し、地域の商工会の方々から継続的にアドバイスを受けながら、自分たちの力で出店準備、販売、決算などの活動を行った。

柳井市立柳東小学校



「子どもたちに緑の贈り物を」を理念に、地域の有志で運動場を定期的に手入れしていただき、子どもたちが芝生の運動場を、裸足で走り回ることができるようになった。

柳井市立余田小学校



毎週金曜日、学習支援ボランティアの方が授業に入れられ、きめ細かい個別指導を行うことができている。

柳井市立伊陸小学校



水曜日の放課後、学校支援ボランティアを講師に学習教室を行っている。参加を希望する子どもも増え、地域を挙げた学方向上につながった。

柳井市立大島小学校



3年生が学校支援ボランティアの方々の説明を聞きながら、地域を探検し、地域の歴史や特徴について学び、地図にまとめた。

周防大島町立三浦小学校



地域のボランティア3名(教職経験者)による算数の補充個別指導を行っている。児童は、ていねいな指導で「わかる・できる」喜びを実感している。

コミュニティ・スクールで、人づくり・地域づくり

周防大島町教育委員会 山口CSコンダクター 川本 卓



町内全ての小・中学校は、校長先生のリーダーシップのもと、学校運営協議会与連携して、コミュニティ・スクールに取り組んでいます。

学校運営協議会で協議し、各校それぞれ特色あるコミュニティ・スクールを推進していますが、共通していることは、多くの委員が意欲的に取り組み、喜びと自信そして誇りをもっています。学校支援(学習支援、環境整備等)のため学校に行くことで、地域の方が久しぶりに友人に出会い談笑する姿があります。子どもたちが地域行事に参加する機会が増え、子どもたちとの会話が増えた、後継者ができたと喜ばれる高齢者の姿があります。かつてのように、子どもたちは地域の方から声をかけられ、励まされることが多くなりました。

これからは、中学校区間の横の連携、町全体としての組織づくり、首長部局との連携等を進めて、「ふるさとに誇りがもてる人づくり・地域づくり」の役に立てればと思います。

学校支援に係る取組

周防大島町立明新小学校



5年生の図工で、地域の陶芸団体の方に教えていただき、子どもたちは初めての陶芸に意欲的に取り組んだ。

周防大島町立油田小学校



生花クラブの活動で、地域の方に指導していただいた。地域の方と児童が、楽しく会話をしながら、学校の花壇に咲いている花を生けた。

周防大島町立城山小学校



起業体験推進事業の一環として、各学級で模擬マーケットに出店する活動の折、地域の園芸店の方に、接客の仕方や商品の陳列の方法、ポップの配置などについての貴重なアドバイスをいただいた。

周防大島町立安下庄小学校



地域で習字教室を開いておられる先生に来ていただき、毛筆習字の指導をしていただいた。

田布施町立麻郷小学校



6年生の道徳授業に地域の方が参加し、「きまりやマナー」について子どもとともに議論した。子どもの思いに共感しつつ、地域の大人としての考えも伝えていただくことで、より深く考えていく機会となった。

田布施町立田布施西小学校



参観日には、地域のボランティアによる「託児ルーム」を開設している。保護者から、「安心して授業参観や研修会に参加できる」との声をいただいている。

田布施町立東田布施小学校



家庭科の裁縫の時間に学習支援ボランティアの方々に「玉留め」「玉結び」の指導をしていただいた。

平生町立佐賀小学校



2年生の道徳の授業「佐賀の良いところ」では、地域の方に話を聞くことで、児童は、自分の住む地域に愛着をもつことができた。地域の方も自分の生まれ育った地域について、子どもたちと語り合うことで、改めてその良さを感じる機会になった。

柳井市立柳井南中学校



学校運営協議会の委員である地元漁協組合長の協力により、生徒が新鮮な魚をさばく体験をさせていただいた。その後、アジフライにして、全校生徒でおいしくいただいた。



地域貢献に係る取組

柳井市立柳井小学校



「白壁通り」について調べ、その歴史的価値や商店、博物館のすばらしさを観光客、地域の方、保護者に元気よく発信した。

柳井市立柳北小学校



地域のコミュニティ協議会と協力して、地域住民約 800 戸に参加を呼びかけ、地域総がかりによる避難訓練を実施し、危機意識の高揚につながった。

柳井市立余田小学校



少年少女パトロール隊が、地域の安全を願い、プラカードを掲げ 30 分程度地域を巡回した。地域住民や通勤の方々に「交通安全」を訴えることができた。

柳井市立平郡東小学校



年間 5 回予定しているデイサービス参観日・訪問では、学習発表をしたりおむすびを作ったりして高齢者とふれ合っている。

柳井市立柳井南小学校



学校は柳井市の南部の美しい海岸に位置し、砂浜が目の前に広がっている。その大好きな場所で、全校児童が清掃活動（「クリーン作戦」）に取り組んだ。

周防大島町立沖浦小学校



児童と教員、学校支援ボランティアが、花を種から育て、地域へ配布した。学校が地域の花いっぱい運動の拠点となっており、花いっぱい運動山口県知事賞をいただいた。

「八行」のすすめ

上関・田布施・平生町教育委員会 山口CSコンダクター 窓原 恵美子



「あいさつ」は、コミュニケーションの基礎基本です。

相手の目を見ていつでも先に続けて「あいさつ」をしていきましょう。

自治体によって、コミュニティの形はいろいろです。また、コミュニティ・スクールのあり方も、学校によって様々です。皆が健康で、「ふるさとを愛し、心豊かに、生き抜いていく」ことは、地域の教育力の向上と地域の活性化に、つながっていきます。

「やまぐち型地域連携教育」を推進していくために「八行」をおすすめします。ハートワークを心がけ、一人ひとりが、フットワーク軽く、ヘッドワークも怠らずに、ホットな気持ちで接することです。チームワークよく、その地域らしいネットワークを構築していきたいものです。

地域貢献に係る取組

周防大島町立森野小学校



毎週金曜日に地域の方を指導者にお招きして、「陸奥太鼓」の継承に取り組んでおり、運動会や学習発表会、さらには地域の祭りにも招かれ、上演している。「小泊港祭り」では、地元出身のアーティストと共演した。

周防大島町立浮島小学校



ふれあい参観日に、児童のおじいちゃん・おばあちゃんや地域の方をお招きし、ふれあいタイムで心を込めて肩もみを行った。

田布施町立城南小学校



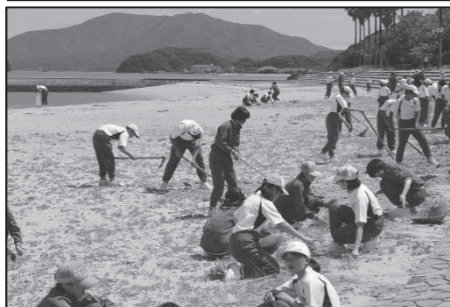
フリーマーケットでは、子どもたちが育てた花の苗を売り、勤労生産の喜びを感じるとともに、花いっぱい運動を地域に広めることができた。

平生町立平生小学校



美しい平生町にするため、5年生が自分たちにできることについて考え、地域の方にも呼びかけて「平生町ピカピカ運動」に取り組んだ。

柳井市立柳井南中学校



毎年、海水浴シーズン前に、地域貢献活動として、海岸の清掃を全校生徒で行っている。

周防大島町立大島中学校



地区伝統の祭り「子どももみやま」に、加勢として中学生男子が参加した。毎年中学1年生が中心となって参加している。

周防大島町立東和中学校



地元の方と子どもたちの学びの場である「土曜塾」では、東和中学校の卒業生である柳井高校吹奏楽部の演奏を地域の方々に聴いていただき、文化的な交流を図った。土曜塾として、他に「島ビザ作り」「天体観測」「お弁当づくり」などを企画した。

周防大島町立安下庄中学校



総合的な学習の時間に、生徒の地域貢献活動として、地元の農園でみかん収穫作業を行った。

上関町立上関小学校、上関中学校



小学6年生と中学1年生の児童生徒が地域の方と交流しながら、町の花、野路菊の苗を地域の花壇に植えた。



学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

柳井市立伊陸小学校、  
伊陸コミュニティ、地域の方



6年生児童が、地域に向けて「伊陸夢プラン」のプレゼンテーションを行い、世代を超えて協議した。

柳井市立小田小学校、  
柳井南小学校、柳井南中学校



巡回公演が小田小で開催されることを機に、柳井市南部地域の学校が一堂に会し、劇中歌を、観覧の地域の方々にも披露した。

【しらかべネット】  
柳井市立柳井中学校、日積小学校、  
柳井小学校、柳東小学校、柳北小学校、  
伊陸小学校、平郡東小学校



地域との連携(絆)を一層深めるため「柳中コミュット(地区生徒会)」を立ち上げ、地域の方と協力しながら、地区ごとに清掃活動などの様々な取組を行った。

【余新ネット】  
柳井市立柳井西中学校、  
新庄小学校、余田小学校



毎月24日(柳井市の西部に位置していることから「二四の日」)の始業前には、「24の瞳の会」の皆さんと柳井西中の生徒が地域の清掃活動・挨拶運動に取り組んだ。

【うずしおネット】  
柳井市立大畠中学校、大畠小学校



立志式では、小学6年生や地域の方を招待し、地域ぐるみで中学2年生の成長を祝した。餅つきや豚汁の準備など、地域協育ネットの協力もいただいて実施している。

周防大島町立三蒲小学校、  
三蒲保育所



保小地域合同地震津波避難訓練では、小学生が保育所園児の手を引いて、地域の方と一緒に、高台の避難場所へ移動した。

学校と地域をつなぐ

柳井中学校区「しらかべネット」統括コーディネーター 佐藤 純一



しらかべネットでは、各学校が毎年テーマを決めて、校区の地域に出て行く教育活動を展開しています。子どもたちが地域に出ると、意外に地域住民の目に留まるものです。子どもたちから「おはようございます」とかわいい声で挨拶されると、ご高齢の皆さんは、自然と笑顔がこぼれ、元気が出るようです。

私も、しらかべネットに関わって5年。私の思いは、子どもたちが地域には美しい自然、素晴らしい文化や歴史がいっぱい残っているんだね、地域のみんなが集まりみんなで作れば楽しいねと思うような、地域ぐるみで子どもたちを育てていく風土や気運が、更に広がっていくこと。コーディネーターとして、今まで続けてこられたのはここに 있습니다。その思いが、私のエネルギーを生み出しているのかも知れません。

学校(園)が連携した取組や地域ぐるみの取組

周防大島町立東和中学校、森野小学校



校内マラソン大会の折に、地域の方々をお招きして注連飾り作りを行った。また、東和中学校の学校応援団の方々によるレモン湯や、校区内の有志の方々による茶粥の接待をいただいた。

周防大島町立島中小学校、日良居保育所、周防大島町役場



島中小、日良居保育所、役場日良居庁舎、地域住民と一緒に津波避難訓練を行っている。低学年は役場職員と一緒に、中学年・高学年は日良居保育所の園児の手を取り一緒に高台まで避難した。

周防大島町立久賀中学校、周防大島町商工会久賀支部



周防大島町商工会青年部久賀支部と久賀中学校による、アフター・スクール・プロジェクト(土曜夜市に出店)を実施した。中学生と大人が共同して地域に貢献する活動は、地域の方々に喜ばれ地域の活性化にもつながった。

周防大島町立情島中学校、情島小学校



情島に昔からあった行事で、一時期途絶えていた「ひごもり」を学校が復活させ、夏の農繁期が終わったころ、地域みんなが集って食事をした。今年は流しそうめんを食べながら、地域の方々と交流を深めた。

周防大島町立安下庄中学校、安下庄小学校、宮ノ下保育園



図工の学習を保・小・中合同で実施し、子どもたちが、保護者や地域の方々とともにクリスマスリースづくりを楽しんだ。

上関町立上関小学校、上関中学校



放課後子ども教室で、地区のボランティア活動に参加した。町の水軍祭りの準備で、会場のゴミ拾いや清掃等を行った。

田布施町立田布施中学校、麻郷小学校、田布施西小学校、東田布施小学校、城南小学校



町の取組として、地域にも「ノーメディア・ウィーク」を発信し、中学校のテスト週間に併せて年3回設定した。小・中学校の児童生徒だけではなく、保護者も含め実施した。メディアとの上手な付き合い方を考える機会となった。

平生町立佐賀小学校、平生中学校



「佐賀地区地域ぐるみの防災キャンプ」を開催し、佐賀小学校児童・平生中学校生徒と保護者・地域の方々と防災における様々なプログラムを体験的に学習した。

平生町立平生小学校、平生幼稚園



地震や津波の発生時に安全に行動できるように、平生幼稚園と合同で避難訓練を実施した。危険箇所では地域のボランティアの方に見守っていただいた。